

**授業概要**

暗号資産とは、従来の仮想通貨のことである（2019年3月15日に暗号資産に関する法改正が閣議決定され、今まで「仮想通貨」と呼ばれていた名称が「暗号資産」へと変更された）  
ブロックチェーンは、分散型ネットワークを構成する複数のコンピューターに、暗号技術を組み合わせ、取引情報などのデータを同期して記録する手法である。暗号資産に使われている技術がブロックチェーンであると言える。本講義では、暗号資産の種類や現状の普及状況を理解する。ブロックチェーンは、暗号通貨で使われているだけでなく、今後は、この技術を使って新たな活用の可能性もあるので、授業でいくつかの例を説明し理解させたい。

**授業計画**

第 1 回	暗号資産の意味と概要
第 2 回	暗号資産の種類と主な暗号資産の説明
第 3 回	暗号資産の活用と課題
第 4 回	金融システムと暗号資産
第 5 回	世界の暗号資産と日本の取り組み
第 6 回	ブロックチェーンの説明
第 7 回	ブロックチェーン技術の特徴
第 8 回	ブロックチェーン技術の種類
第 9 回	ブロックチェーン技術の活用
第 10 回	ブロックチェーン技術を使ったビジネス
第 11 回	ブロックチェーン技術を使った情報システム
第 12 回	ブロックチェーンとセキュリティ
第 13 回	暗号資産とセキュリティ
第 14 回	これまでの学習内容のまとめ
第 15 回	内容理解のための筆記試験の説明
第 16 回	筆記試験の実施

**到達目標**

1. 暗号通貨とブロックチェーンを理解し、技術的な概要を理解する。
2. ブロックチェーン技術とそれを使ったサービスが生み出す新たな価値や可能性を認識すること。

**履修上の注意**

特になし

**予習・復習**

各講義の前後 1 時間

**評価方法**

授業中のレポート提出とテストで評価する。具体的には、  
学期末試験 70%、授業内レポート 20%、受講態度 10%

**テキスト**

- ・別途指示します。

「暗号資産の基本と仕組みがよくわかる本」秀和システム 堀 龍市 著 (1,600 円+税)